

## 特典 PDF

# Webサイトの公開方法

サーバーにファイルをアップロードしWebサイトを公開する方法を学んでいきます



いよいよWebサイトを公開します!  
これでみんなが見られるようになりますよ。



わ~ドキドキするな!

## Webサイトを公開するための3ステップ



まずは全体の流れを確認しましょう。

①公開用のサーバーを用意(レンタル)する



②ドメインを用意(購入・契約)して設定する



③サーバーにファイル一式をアップロードする

### 1.公開用のサーバーを用意（レンタル）する

Webサイトをインターネットに公開するには、Webサイトのファイル一式を置いておくサーバーが必要になります（⇒書籍のP.25）。サーバーは自分で機器を購入して作ることもできますが、別途専門的な知識が必要となるためレンタルするのが一般的です。

Webサーバーの貸し出しサービスを提供している企業はたくさんあり、そのようなレンタルサーバーサービスでサーバーの一部のスペースを借りて公開します。



たとえるなら賃貸契約や、フリーマーケットの出店のようなイメージです。

## ◎有名なレンタルサーバー

レンタルサーバーサービスにも機能やサービスの種類によって安価なものからプロ仕様のものまで、さまざまです。はじめてサイトを公開するというだけであれば、無料から月額数百円程度のサーバーで十分でしょう。

### ・エックスサーバー



<https://www.xserver.ne.jp/>

### ・ロリポップ！レンタルサーバー



<https://lolipop.jp/>

### ・お名前.comのレンタルサーバー



<https://www.onamae.com/server/>

## 2.ドメインを用意（購入・契約）する

Webサイトを置くサーバーを手に入れたらドメインを取得する必要があります。

ドメインはドメイン管理業者やレンタルサーバー会社が管理販売をしていて、そこからドメインを使用する権利を購入します。

好きな文字列

.jpなど種類がある

<https://example.com>

ドメイン

## ◎有名なドメイン取得サービス

### ・エックスサーバードメイン



<https://www.xdomain.ne.jp/>

### ・ムームードメイン



<https://muumuu-domain.com/>

### ・お名前.com



<https://www.onamae.com/>



だいたい1年単位の契約で年額にして数百円～数千円の費用がかかります。金額は「.com」や「.jp」などのドメインの種類によっても違ってきます。



サーバーの契約をするとドメインが無料でついてくるキャンペーンなどもあります。

### 3. サーバーにファイルをアップロードする

ドメインとサーバーを紐づけたら、最後にサーバーにファイル一式をアップロードします。

ファイルをサーバーにアップロードするにはレンタルサーバー会社が用意してくれているアップロードツールを利用するか、FTPクライアントと呼ばれるアプリケーションを使います。

使いやすさや汎用性の観点からFTPクライアントを使うのが一般的です。

#### 有名なFTPクライアント



FileZilla



Cyberduck



WinSCP  
(Winのみ)



Transmit  
(Macのみ)

### Webサイトを公開するのにかかる平均費用

#### 平均費用

- ✓ サーバー代：月額1,000円以内程度
- ✓ ドメイン代：年額3,600円以内程度

合計 → 月額1,300円以内程度



もっと安く抑えることもできますが、これくらいの金額でインターネットに自分のサイトを公開できます。



会社やプランにもよりますので目安として捉えてくださいね。

これくらいなら僕のお小遣いでもなんとかなりそうです！





ノーコードでWebサイトを公開できるサービス



最近ではHTMLやCSSを書かなくてもWebサイトを公開できるサービスも増えています。このようなサービスはノーコードサービス（もしくはサイト・ツール）などと呼ばれています。

少し前まではデザインテンプレートが用意されているブログやECサイトなどが主流でしたが、最近は普通のサイトもノーコードで自由に作れるようになっています。

サーバーやドメインなども同時に提供しているサービスもあるので、手軽にWebサイトを作り、公開したい場合は選択肢に入れてもよいかもしれません。

### ▶有名なノーコードサービス

#### STUDIO

STUDIO  
your team's place.  
Create websites with no code.  
Design, build, and publish your website.

Web Design Platform for All Creatives.

Where your tools and team Click.

デザイン、会員、CMSまで、すべてがここに。

STUDIOではじめる

<https://studio.design/ja>

#### Webflow

webflow

The modern way to build for the web

Webflow empowers designers to build professional, custom websites in a completely visual canvas with no code.

Get started — It's free!

<https://webflow.com/>

### ▶EC特化型のノーコードサービス

#### Shopify

shopify

世界中の170万以上の店舗が使う

Shopifyでネットショップを始めよう

メールアドレスを入力してください

無料体験をはじめる

<https://www.shopify.jp/>

#### STORES

STORES

はじめての人も  
いますぐ、かんたんに

ぜひ美しい写真や映像はおあきりません。  
自分だけのネットショップが、今までの販売で出来ます。

まずは無料体験をはじめる

<https://stores.jp/>



ノーコードでWebサイトが作れるようになってもHTMLやCSSの知識がムダになる訳ではありません。オリジナリティや細かいこだわりを表現したり、ゼロからサイトを構築しなければならないシーンはまだまだたくさんありますので安心してくださいね。



## レンタルサーバーを契約しよう



ここからは実際の手順に従ってインターネットの公開方法を学んでいきましょう。



無料で使えるXFREE（エックスフリー）というレンタルサーバーを例に進めていきます。本格的にサイトを運用する場合はP.2で紹介した有料サーバーをレンタルしましょう。

無料で試せるのはありがたいですね！



### STEP 1 レンタルサーバーのサイトにアクセスしよう

XFREEのサイト (<https://www.xfree.ne.jp/>) にアクセスします。

※注) 執筆時のWebサイトキャプチャのため見た目が異なる可能性があります。また、サービス内容や手順が変わる可能性もありますがご了承ください。

### STEP 2 利用申し込みをしよう (1)

「無料レンタルサーバーご利用お申し込み」ボタンをクリックし、メールアドレスを記入し、「確認メールを送信」ボタンをクリックします。

### STEP 3 利用申し込みをしよう (2)

メールが届いたらメール内に記載されているURLから申し込みフォームに飛び、必要事項を記入し、会員登録を確定します。

## STEP 4 サーバーIDの登録をしよう

管理パネルにログインをしたら、トップ画面に「**サーバーIDの登録**」がありますので、こちらに任意の文字列を登録します。サーバーIDはWebサイト初期URLの一部として利用されます。

ここではfirstbookと入力しました

## STEP 5 レンタルサーバーの利用を開始しよう

左のメニューから「無料レンタルサーバー」を選択し、HTMLサーバーの「利用を開始する」ボタンをクリックします。

## STEP 6 サーバーパネルへログインしよう

再び左のメニューから「無料レンタルサーバー」を選択し、HTMLサーバーの「サーバーパネル」欄から「管理パネルログイン」ボタンをクリックします。



サーバーについての設定はこの画面で行うことになりますので、すぐにアクセスできるようブックマークなどををしておいてくださいね。



無料サーバーは手軽に使えますが、広告の表示やメールが使えないなど機能的な制限があるので継続的に利用する方は要件を満たしているか確認しましょう。例えば、XFREEの場合、定期的に管理画面で契約更新手続きを行う必要があります。

# ドメインを契約しよう



ドメインは特別なキャンペーンなどを除き無料のものがないため、有料で契約する必要があります。独自ドメインを契約しなくともサイト公開は可能ですので、**ドメインを契約しない場合はこちらの項目はスキップし、P.17からの手順でサイトを公開してみてくださいね。**



ここでは有名な「お名前.com」での登録手順を見ていきます。他のドメインサービスでも概ね手順は一緒かと思いますが、契約するレンタルサーバーとドメインの会社を揃えると次の手順で行う「レンタルサーバーとドメインを紐づける」のが簡単になることもあります。サーバーやドメインをレンタルする時にはチェックしてみましょう。

STEP 1

## ドメインサービスのサイトにアクセスしよう

お名前.comのサイト (<https://www.onamae.com>) にアクセスします。

※注) 執筆時のWebサイトキャプチャのため見た目が異なる可能性があります。また、サービス内容や手順が変わることもありますがご了承ください。

The screenshot shows the Onamae.com website. At the top, there's a navigation bar with links for 'ドメイン', '独自サブドメイン', 'レンタルサーバー', 'オフショアサービス', '新規パートナー登録', and 'ヘルプサポート'. Below the navigation, a large red banner with the text 'ドメイン登録料金 国内最安値' (Domain registration fees are the lowest in Japan). A search bar is present with placeholder text '取得希望の文字列を入力' and a dropdown menu set to '.com'. A green '検索' (Search) button is to the right. Below the search bar, a message reads: 'ビジネスのWEBサイトには、ビジネスに最適な「CO.JP」を。上場企業97%の登録実績をあなたのサイトにも。' (For business websites, choose 'CO.JP'. 97% of listed companies have registered with us.)

STEP 2

## 希望のドメイン名を入力して検索しよう

トップの入力欄に取得希望の文字列を入力し、検索ボタンをクリックします。

The screenshot shows the search results page for 'firstbook'. The search bar at the top contains 'firstbook' and '.com'. To the right of the search bar is a green '検索' (Search) button.

STEP 3

## 登録したいドメインを選択しよう

取得可能なドメイン一覧が表示されますので、登録したいドメインにチェックを入れます。

ドメインは3文字以上63文字以下で基本的には半角英数字と - (ハイフン) が使えます。

The screenshot shows a table of domain suffixes with checkboxes. The columns are: .com, .jp, .co.jp, .inc, .xyz, .net, .work, .site, and .tokyo. The first row shows prices: 1円～, 360円～, 1,480円～, 49,800円～, 30円, 1円～, 1円～, 50円, and 60円. The second row shows the word 'firstbook' followed by a series of checkboxes. The '.site' checkbox is checked, indicated by a checkmark inside the box.

今回は「.site」を取得してみます。

## ◎ サーバー選択について

申し込みフォームの下にある「ドメインを利用するためサーバーをご選択ください」については、今回はXFREEを利用しますので「利用しない」を選択しましょう。



### ドメイン選択時の注意点

ドメインは「取得費用」と「更新費用」が別で設定されていることがほとんどです。検索後の画面では1年あたり50円～などと非常に安価な値段で表示されているため、ずっとこの値段で利用できるように感じますが、これは取得費用のことを示しています。

取得費用よりも更新費用の方が高いケースが多いので、更新費用を調べてから契約するようになります。更新費用のページは検索すると出てきますが、お名前.comの場合は以下になります。

#### ▼更新料金一覧ページ

<https://www.onamae.com/service/d-renew/price.html>

例えば、検索画面では.siteが「50円」と記載されていますが2年目以降の更新時にかかる費用は4,378円となっています。

※2021年9月現在の価格です

| 検索画面                                |       |                 |
|-------------------------------------|-------|-----------------|
| work                                | .site | .toky           |
| 50円                                 | 60円   |                 |
| <input checked="" type="checkbox"/> |       | ↑更新料の価格 4,378 円 |

さらに検索画面で「取得可能」となっているドメインでもカーソルをあわせると「プレミアムドメイン」と表示されるものは非常に高額です。このような点に気をつけてドメインを選択しましょう。

| ご希望のドメイン    | .com                     | .jp                      | .co.jp                   | .inc                     | . |
|-------------|--------------------------|--------------------------|--------------------------|--------------------------|---|
| firstbook   | 1円～                      | 360円～                    | 1,480円                   | 49,800円                  |   |
|             | <input type="checkbox"/> | <input type="checkbox"/> | <input type="checkbox"/> | <input type="checkbox"/> |   |
| プレミアムドメインです |                          |                          |                          |                          |   |



firstbook.comは800万円を超えていたよ～！破産しちゃう・・・・。



## なぜドメインはこんなに値段に差があるの？

ドメインは住所のようなものなので、**誰かと同じものは取得できません。**

そのため、取得しようと思ったドメインがすでに誰かにとられていることがあります。

また、「好きな文字列」と「トップレベルドメイン」の組み合わせによってはとても人気が高いドメインとなります。

このような仕組みを利用し、人気のドメインをいち早く取得して高い価格で転売する人がいるため、ドメインによっては価格が非常に高くなるといった現象が起きます。

また、トップレベルドメインには登録に制限があるものとのあります。.comは誰でも登録できるトップレベルドメインですが、.co.jpは「日本で登記された会社」のみが取得できるドメインです。

このような特定の資格がいるものは通常のドメインより取得価格が高額なケースが多いです。

**好きな文字列** **トップレベルドメイン**

**https://example.com**

**ドメイン**

### STEP 4 お名前.comに登録する

アカウントがない方は右に表示されているボタンからアカウント登録を行いましょう（ドメインの購入とアカウントの取得が同時に進みます）。指示に従い、個人情報や決済情報を入力します。最後の「ご利用予定のレンタルサーバー」については、今回は「XFREE」を使うため、チェックは入れずに進みます。

記入し、次へをクリック

必要事項を入力

利用予定のレンタルサーバーを選択ください。  
お選びしたドメインのホームサーバーを、ご利用予定のレンタルサーバー一覧の中にも自動で変更できます。

【選択されたホームサーバー】  
ns1.server.jp ~ ns5.server.jp

【選択されたホームサーバー】  
ns1.mixhost.jp ~ ns5.mixhost.jp

【選択されたホームサーバー】  
ns1.dns.ne.jp m2.dns.ne.jp

利用予定のレンタルサーバーを選択してください。  
お選びしたドメインのホームサーバーを、ご利用予定のレンタルサーバー一覧の中にも自動で変更できます。

エックスサーバー

mixhost

さくらインターネット

チェックを入れない



最後にドメイン取得完了の画面が表示されればドメインの取得は完了です！



## ドメインをサーバーに紐づけよう



ドメインを契約しただけではWebサイトを公開したことにはなりません。今はドメインとサーバーに繋がりがない状態ですので、この2つを紐づける必要があります。

## XFREEとお名前.comでの手順



XFREEで行う場合と有料サーバーをレンタルする場合とでは少し手順が異なりますので別々にご紹介します。有料サーバー（エックスサーバー）での手順はP.13からになります。

### ① XFREEで情報を確認して、お名前.comに情報を登録しよう

STEP 1

#### XFREEの管理パネルページにアクセスしよう

P.6でアクセスしたXFREEの管理パネルページにアクセスし、HTMLの管理パネルにログインします。



STEP 2

#### ドメイン設定情報をメモしよう

「ドメイン」メニューから「ドメイン設定」を選択し、「ドメイン設定の追加について」欄にある「コンテンツ」の項目（IPアドレス）をどこかにコピー＆ペーストしておきましょう。

STEP 3

#### お名前.comの管理ページにアクセスしよう

別のタブでお名前.com (<https://www.onamae.com/>) にアクセスしてログインしましょう。メニューの「ネームサーバーの設定」>「ドメインのDNS設定」をクリックします。

**STEP 4****情報を登録しよう（1）**

ドメインを選択した状態で「次へ」のボタンをクリックし、ページをスクロールして「DNSレコード設定を利用する」の横の「設定する」ボタンをクリックします。

**STEP 5****情報を登録しよう（2）**

VALUEの入力欄に先程コピー＆ペーストしておいた「コンテンツ」の値を入力し、右の「追加」ボタンをクリックします。ホスト名は空のままでOKです。

**STEP 6****情報を登録しよう（3）**

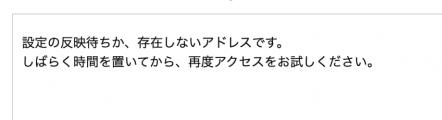
下までスクロールし、「DNSレコード設定用ネームサーバー変更確認」にチェックが入っていることを確認し、「確認画面へ進む」をクリックします。

**STEP 7****情報を登録しよう（4）**

確認画面の「設定する」ボタンをクリックし、完了画面が表示されればお名前.comでの作業は終了です。



お名前.comでの作業が終わった後に「http://登録したドメイン」にアクセスすると右下のような画面に変わります。画面が変わるには数時間かかることもあります。



<http://firstbook.site>にアクセスした時の表示

## XFREEDOMで独自ドメインを登録しよう

### STEP 1 XFREEDOMで独自ドメイン設定をしよう（1）

XFREEDOMのサーバー管理パネルに戻り「ドメイン設定追加」タブを選択します。



### STEP 2 XFREEDOMで独自ドメイン設定をしよう（2）

ページ下までスクロールします。ドメイン名に設定したドメイン名を入力し、「認証方法」はAレコード認証を選択して「ドメイン設定を追加する（確認）」ボタンをクリックします。

確認画面に進んだら、確定ボタンをクリックします。



### STEP 3 XFREEDOMで独自ドメイン設定をしよう（3）

最後に「ドメイン追加完了画面」が表示されれば、作業は終了です。



### STEP 4 ドメイン（URL）にアクセスしてみよう

ドメインにアクセスし、右のような画面が表示されれば「サーバーとドメインの紐付けが完了した」ということになります。



右のような表示になるまでに長くて2日ほどかかりますので公開日が決まっている場合は余裕を持って設定するようにしましょう。

# エックスサーバーとお名前.comでの手順



ここからは有料サーバー（エックスサーバーを例にしています）を契約した場合なので、XFREEの方の続きはP.16からになります。



ここではエックスサーバーとお名前.comでの例を見ていきます。他のサービスでは手順の異なる場合がありますので、各サービスのヘルプを参考にしてくださいね。なお、エックスサーバーの契約とP.7の「ドメインを契約しよう」は終えている前提での解説となります。

## ○ ネームサーバーの変更をしよう



ネームサーバーについての詳細は省きますが、ドメインとIPアドレスを紐づけるサーバーのこと、ドメインを契約したお名前.comのネームサーバーを利用する設定になっているものをエックスサーバーのネームサーバーを利用するように設定します。

STEP 1

### エックスサーバーのサーバーパネルにアクセスしよう

エックスサーバーの「サーバーパネル」にログインしてアカウントメニューから「サーバー情報」をクリックします。

STEP 2

### ネームサーバーを確認しよう

「ネームサーバー」の項目をどこかにコピー＆ペーストしておきましょう。

※大きな変更がなければ「ns1.xserver.jp ~ ns5.xserver.jp」という名前かと思います。

STEP 3

### お名前.comにアクセスしよう

お名前.com (<https://www.onamae.com/>) にアクセスして管理画面にログインしましょう。ログインしたらメニューの「ネームサーバーの設定」>「ネームサーバーの設定」を選択します。

STEP  
4

## ネームサーバーを設定しよう

変更希望のドメインを選択し、ネームサーバーの選択で「その他」のタブを選択します。

「ネームサーバー1」と「ネームサーバー2」に先程コピーしておいたネームサーバー名をペーストします。  
※5まで記入しても良いですが必須の2まででも設定はできます

記入できたら確認ボタンを押して内容が正しければ「OK」をクリックしましょう。



これで契約したドメインのネームサーバーがお名前.comでの管理からエックスサーバーでの管理に変更となりました。

## ○ ドメイン設定の追加をしよう



ネームサーバーの変更を終えたらエックスサーバーの管理画面でドメインの追加を行います。「このサーバーで『契約したドメイン』を使いますよ」という設定になります。



ネームサーバーの変更作業の完了後、少し時間をあけてから（1～2時間）以下の作業をおこなう方がエラーが出にくく、スムーズにいきます。

STEP  
1

## ドメイン設定メニューにアクセスしよう

エックスサーバーの「サーバーパネル」にログインして「ドメイン」メニューから「ドメイン設定」をクリックします。



STEP  
2

## ドメインを追加しよう

「ドメイン設定追加」タブを選択したら、ドメイン名を入力して「確認画面へ進む」ボタンを押してください。確認画面が出たら「追加する」ボタンをクリックして完了です。



『無料独自SSLを利用する（推奨）』『高速化・アクセス数拡張機能「Xアクセラレータ」を有効にする（推奨）』はチェックを入れたままがオススメです。



SSLとは？

SSLはSecure Sockets Layerの略で、データを暗号化して送受信する仕組みのことで、ログイン情報やフォームの送受信データなどの傍受を防ぐことができます。



SSLに対応していないサイトはブラウザによって「危険なサイト」と判断されてしまいますので、別途有料のSSLを利用するなどの理由がない限りは無料独自SSLを利用することが推奨されます。



SSL対応しているサイトのURLはhttp://ではなく、https://から始まります。

STEP  
2

## ドメイン（URL）にアクセスしてみよう

ドメインとサーバーが紐づいたらブラウザにURLを直接入力すればアクセスできます。

エックスサーバーの場合は右図のような初期ページが表示されます。次のワークでは、このファイルを入れ替えて自分のサイトが表示されるようにしていきます。



https://firstbook.siteにアクセスした時の表示

ここまでドメインの設定を行ってきましたが、自分で取得したドメインを「独自ドメイン」と呼びます。一方、XFREEで初めから設定されていたドメインを「共有ドメイン」と呼びます。



2つを比較してみましょう。

### 独自ドメイン

firstbook.site

お名前.comで取得したドメイン

### 共有ドメイン

firstbook.html.xdomain.jp

XFREEについてくるドメイン

共有ドメインはXFREEを利用しているユーザーが共有で使用しているものなので

「.html.xdomain.jp」は共通になります。「●●.html.xdomain.jp」の●●にP6で指定したサーバーIDが入ることで、世界で1つのURLを生成しています。

独自ドメインは、自分がドメインを所有しているので誰かと共有のものではないということになります。



自分専用のドメインってカッコいいですね！

また共有ドメインのxdomein.jpの前の部分を「サブドメイン」と呼びます。

サブドメインは1つのドメインを複数の用途に応じて使い分ける時に使用します。

共有ドメインはこの仕組みを利用して、多くのユーザーにドメインを分け与えています。

### トップレベルドメイン

firstbook.html.xdomain.jp

サブドメイン

ドメイン



独自ドメインを持っていると自分でサブドメインを設定して、URLを複数つくることができますよ。



## レンタルサーバーにファイルをアップロードしよう



いよいよ最後の「ファイルをサーバーにアップロードする」という手順です。

## FileZillaをインストールしよう



ファイルのアップロードにはFTPクライアントというソフトウェアを使います。FTPクライアントソフトはたくさんありますが、MacでもWindowsでも無料で使用できるFileZilla（ファイルジラ）を使ってみましょう。

STEP 1

### FileZillaをダウンロードしよう

FileZillaのサイト (<https://filezilla-project.org/>) にアクセスし、パソコンのOS (MacやWindows) に合ったダウンロードボタンをクリックします。

上記キャプチャはMacの場合になります。

STEP 2

### FileZillaのインストール

Macの場合は拡張子が.bz2、Windowsの場合は.exeファイルがダウンロードされます。

ダウンロードしたファイルを解凍後、Macの場合はappファイルを「アプリケーションフォルダ」に移動しましょう。Windowsの場合はインストーラーの指示通りに進めていくとインストールが完了します。

上記キャプチャはMacの場合になります。

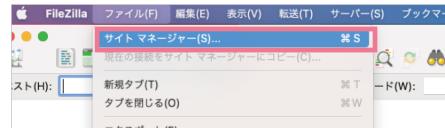
# FileZillaの設定をしよう



FileZillaのインストールが完了したら起動し、サーバーへの接続情報を登録しましょう。

## STEP 1 サイトマネージャーを開こう

FileZillaを起動し、メニューバーから[ファイル]→[サイトマネージャー]を選択しましょう。



## STEP 2 FileZillaにサーバー情報を登録しよう（1）

左下の「新しいサイト」ボタンをクリックして「firstbook.site」といったドメイン名など、わかりやすい名前をつけましょう。識別できればどんな名前でも大丈夫です。



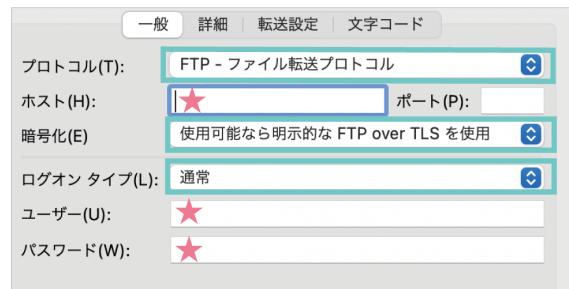
## STEP 3 FileZillaにサーバー情報を登録しよう（2）

サイトマネージャーの右側にサーバーの情報を登録します。

右図画像の青色の部分は初期値なのでそのまま大丈夫かと思いますが、念の為同じになっているか確認を確認しましょう。

★マークの部分はサーバーごとに確認方法が異なるため次ページで説明します。

「ポート」は空欄でOKです。



## ◎ XFREEの方

「HTMLの管理パネル」にログインし、「FTPアカウント設定」をクリックして次のページでドメインを選択します。（独自ドメインでXFREE利用の方は独自ドメインを選択します）

ホスト名、アカウント名（ユーザー名）の情報が記載しております。パスワードは「※初回利用時に[編集]からパスワードを設定してください。」と書いてあるので「編集」ボタンから任意のパスワードを設定しましょう。



## ◎ エックスサーバーの方

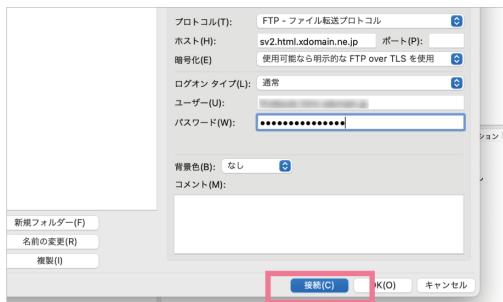
「サーバーパネル」にログインして「サブFTPアカウント設定」から「FTPソフト設定」タブを選択すると確認できます。「パスワード」はエックスサーバーを契約した際のメールに記載があります。



### STEP 4 サーバーに接続しよう

サーバーの情報を記入したら、「接続」をクリックします。

「不明な証明書」というポップアップが表示された場合は「今後は常にこの証明書を信用する」と「記載されている代替ホスト名でこの証明書を信頼する」の両方にチェックを入れ、「OK」をクリックします。



# ファイルをアップロードしよう



接続がうまく完了すると下記のような画面になります。左側がPCのファイル一覧で、右側がサーバーのファイル一覧になります。

The screenshot shows the FileZilla interface. On the left, under 'ローカル サイト' (Local Site), there is a tree view of a user's computer files, including Applications, Creative Cloud Files, Desktop, Documents, Downloads, Dropbox, Library, Movies, Music, and Pictures. A red box highlights this area with the text 'PCの中のファイル (ローカルファイル)'. On the right, under 'リモート サイト: /' (Remote Site: /), there is a list of files on a server: .htaccess, default\_page.png, and index.html. A red box highlights this area with the text 'サーバーのファイル'. At the bottom, there are tabs for 'キューファイル' (Queue), '失敗した転送' (Failed Transfer), and '成功した転送' (Successful Transfer).

## STEP 1 公開ディレクトリにアクセスする

XFREEサーバーの場合は接続したフォルダが公開ディレクトリになり、「default.png」と「index.html」がある状態です。

エックスサーバーの場合、「ドメイン名フォルダ」をダブルクリックするとそのフォルダの中に移動できます。その中の「public\_html」をダブルクリックした

/ドメイン名/public\_html/

が公開ディレクトリです。

ここが`https://ドメイン名/`でアクセスした時に表示される場所になります。

The screenshot shows the XFREE server interface. Under 'リモート サイト: /' (Remote Site: /), there is a list of files: default\_page.png and index.html. A red box highlights this area with the text 'XFREEの場合'.

The screenshot shows the E克斯服务器 interface. Under 'リモート サイト: /' (Remote Site: /), there is a list of files: mail, public\_html, script, and xserver.php. Below it, under '名前' (Name), there is a list of files: default\_page.png and index.html. A red box highlights this area with the text 'エックスサーバーの場合'.

STEP  
2

## PC側で自分の作成したサイトのファイルが入ったフォルダを探す

左側の画面で自分が作成したサイトのフォルダを探しましょう。

| 名前                | サイズ   | 種類        | 更新日時                     |
|-------------------|-------|-----------|--------------------------|
| css               |       | ディレクトリ    | 2021/09/03 15時...        |
| images            |       | ディレクトリ    | 2021/09/03 21時...        |
| concept.html      | 3,503 | html ファイル | 2021/07/27 16時...        |
| <b>index.html</b> | 2,367 | html ファイル | <b>2021/07/27 16時...</b> |
| info.html         | 3,459 | html ファイル | 2021/07/27 16時...        |
| menu.html         | 3,350 | html ファイル | 2021/07/27 16時...        |

STEP  
3

## index.htmlをアップロードしてみよう

まずはindex.htmlをアップロードしてみます。画面の左側（PC）から右側（サーバー）にファイルをドラッグ＆ドロップするだけです。

index.htmlは右側にすでに同じ名前のファイルが存在するため、右のような「上書きをしていいか」の確認が出ます。今回は上書きして大丈夫なので、OKをクリックします。



Finder (Mac) やエクスプローラー (Windows) から直接サーバー側（右側）にドラッグ＆ドロップすることもできます。

STEP  
4

## ドメイン（URL）にアクセスしてみよう

ドメイン（URL）にアクセスしてエックスサーバーの初期画面から、自身のサイトのindex.htmlが表示されるように変わっていれば成功です。

他のHTMLファイルやCSSファイル、画像ファイルなどもSTEP3と同じ要領でアップロードしてみましょう。



アップロード作業が完了したらFileZillaは閉じてしまっても問題ありません。誤って操作をしないように必要な時だけ起動するようにしましょう。



ついに自分のサイトが公開できました！！！

### Harvest Restaurant

- 
- home
- concept
- menu
- info
- CONCEPT
- MENU
- INFORMATION

書籍の15章の完成ファイルのindex.htmlをアップロードしました。



## 練習ファイルをアップロードする時の注意点

公開されているWebサイトはGoogleなどの検索エンジンが自動でクローリング（情報収集）をするため、なにかのキーワードで第3者にアクセスされる可能性があります。

書籍で作成したサイトをアップロードする場合、特にPart5のデザインはレストランが題材で、たまたまサイトを見つけてしまった人にはとて「架空である」とわかりにくいサイトですので、**サイトにパスワードをかけるか、検索エンジンにクローリングさせない設定**をしておきましょう。

XFREEとエックスサーバーでは簡単にサイトにパスワード制限をかけることができますので、ヘルプを参考に制限をかけましょう。

### ▼XFREEのマニュアル

[https://www.xfree.ne.jp/manual/man\\_server\\_limit.php](https://www.xfree.ne.jp/manual/man_server_limit.php)

### ▼エックスサーバーのマニュアル

[https://www.xserver.ne.jp/manual/man\\_server\\_limit.php](https://www.xserver.ne.jp/manual/man_server_limit.php)

もう1つの方法としては、タグを追加して検索エンジンにクローリングさせない方法があります。ページの<head>～</head>に以下のmetaタグを一行追加するとクローリングされなくなります。

```
<meta name="robots" content="noindex,nofollow">
```



Webはすべての人にとってオープンであることを留意しましょう。

書籍のサンプルサイトを多くの人がアップロードしてしまったら同じサイトがたくさんWEB上に公開されてしまいしますね（汗）



パスワードをしっかりとかけて、念のためmetaタグも書いておきます！